

事務事業名		商工振興総務管理事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課 (観光施設再生活用推進室)	
総合計画 体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	観光施設再生活用推進G	課長名	高橋 司	
	施策名	〈36〉観光の振興		担当者名	加藤 雄二	電話番号	0854-40-1054 (内線) 2431	
	基本事業	〈107〉受け入れ施設の充実		予算科目	会計	款	大事業名	商工振興総務管理事業
	目的 対象	観光客	意図		観光施設を利用できる。	大項目	中事業名	商工振興総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
食の幸発信推進事業に進出予定であった事業者(事業予定者)	損害賠償を行う
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	令和3年11月の食の幸発信推進事業の見直し(事業中止)に伴うテナント出店予定者に対する賠償の実施。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
賠償金の支払い (厨房設計費など準備コスト)	<input type="checkbox"/> 令和3年11月に食の幸発信推進事業の見直しを表明。 <input type="checkbox"/> 賠償額の算定(顧問弁護士による内容確認含む) <input type="checkbox"/> 5月議会説明 <input type="checkbox"/> 6月補正により賠償額を予算化

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア 事業者数	団体			1	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
賠償金 2,067千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円				2,067	
	事業費計		千円	0	0	2,067	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	○食の幸発信推進事業の見直しにより不要になったコスト(厨房設計費などの準備経費)について賠償し、示談ができた。
② 事業実施するうえでの課題	○賠償額は、支出の証拠資料があるものを顧問弁護士によって確認いただいて確定した。 ○今回、用地費が確定した後に事業が中止となった。これにより、地権者に迷惑をかけた。
③ 課題解決に向けた改革改善等	○事業見直しに対するその他の対策 ・産直振興は農林振興部で対応。R4年度から産直に精通した専門職員を配置している。 ・食関連産業の強化、交流人口拡大については主として産業観光部で対応し、R4年度に農産加工設備に関する補助金新設ならびに道の駅活性化ビジョン作成について実施した。